

おかげさまとおたがいさま

【特集】ボランティア



福祉や地域活動、学校生活、社会教育など、身近な暮らしを支えるボランティア。市内でも、多くの個人や団体が日々活動しています。今月は、市内で活動するボランティアを紹介しながら、誰にでも参加できるボランティアの世界にざないます。

写真は、佐々木コトさん(遠野町)にお弁当を届ける東北電力遠野営業所の今野幸徳さん。同営業所の社員で組織する「げんき会」は、13年前から高齢者宅への配食ボランティアをしています。



2008.05
No.35

広報

- 目次
- 02 風の人
樋口真衣さん
- 03 【特集】ボランティア
おかげさまとおたがいさま
- 08 ニュース&トピックス
阿部明日香さんが全国入選/曲り家2棟が国の登録有形文化財に/各種表彰受賞者紹介/市婦人消防協力隊設立
- 10 各種委員紹介
区長/保健推進委員/身体障害者相談員/交通指導員/民生・児童委員
- 12 市からのお知らせ
水道事務所から/健康づくり総合大学から/市長ひとこと
- 14 学びのいずみ
南こうせつ、ウー・ファンコンサート/市原悦子・朗読とお話の世界/少年少女ふるさと発見探偵団/おすすめしたい本 ほか
- 16 まちの話題
シルバーボランティア/読売巨人軍野球教室/陸上自衛隊視察/猿ヶ石川こみ川柳大会/遠野プルベリーの森/地域トピックス(綾織町、附馬牛町)
- 18 ふれあい広場
わが家のアイドル/大きくなったら何になりたい?/サークルクラブ紹介/青春のトーク/ともに歩んで半世紀
- 20 おしらせ
- 22 保健福祉情報館
休日救急診療当番医/移動献血車まごころ号/おめでた/おみやみ など
- 23 市民カレンダー
- 24 遠野遺産
山口の水車小屋



◎表紙の写真

4月20日、今年の社会人野球が開幕。達曾部体育協会の佐々木一雅さん(宮守町達曾部)は、今シーズン初の試合にピッチャーとして出場。6月に開催される県民体育大会への出場権を懸けて、闘志あふれるプレーを披露していました。



たくさんの人と触れ合い、
あこがれの農村生活を満喫します

樋口真衣さん ひぐち・まい 緑のふるさと協力隊 25歳

「農村に住む、農業をする、一人暮らしをする、の三つの願いすべてが詰まっている仕事は協力隊でした。遠野は小学生のころに見た写真集で知り、そのときからのあこがれの地。緑のきれいな山の上から見下ろす盆地の風景が、今でも記憶に残っています。」

「緑のふるさと協力隊」として、四月十日に着任した樋口真衣さん。「風土も人も穏やかで心地いいです」と、遠野の生活がすっかり気に入った様子。派遣期間は一年。田植えやホップの収穫、牛の世話など、これから始まる遠野での生活を躍らせてみます。ここでの生活を大切にしたいと、今では欠かさず日記を付けています。

苗作りの手伝いでは、土の入ったトレイを腰を屈めて並べる作業に、農業の厳しさを実感。「頭で考えていたことと、ぜんぜん違いましたね。地道な作業は正直大変でした」と話します。

この一年間でいろいろな人と出会い、たくさんのことを学びたいと消防ラッパ隊や神楽団体にも積極的に加入。そんな樋口さんの理想像は、田舎で暮らしながら孫たちといろいろなことを教えられる「物知りおばあちゃん」。

「たくさんのことを学び、少しでも理想に近づきたい。食べることが大好きなので、遠野のおいしい物をいっぱい食べたいですね」と笑顔を広げます。



Profile 福岡県筑紫野市生まれ。旅行が大好きで、現在は国内旅行業務取扱管理者に挑戦中。コテージランドかしわぎを拠点に、あこがれの農村生活を満喫。
Memo 緑のふるさと協力隊は、特定非営利法人地球緑化センターが実施する人材派遣制度。全国の自治体などの受入により、山村で1年間生活をしながら、自分自身の生き方を見詰める制度。旧宮守村で受け入れを始めてから今回で6日目。